

令和6年度第1回北方町総合教育会議会議録

令和6年5月21日、北方町総合教育会議を北方町役場第2会議室で開催した。

本日会議に付した事件は次のとおりである。

日 程

- 第 1 町長あいさつ
- 第 2 令和6年度教育委員会の重点施策について
- 第 3 意見交流

1. 本日の会議の出席委員は、次のとおりである。

町長・・・・・・・・・・戸部 哲哉

教育長・・・・・・・・・・名取 康夫

教育委員・・・・・・・・林 明夫、安田 和夫、佐野 和美、村瀬 康一郎

1. 委員以外の出席者は次のとおりである。

教育総務課長・・・・・・・・郷 展子

学校教育課長・・・・・・・・山路 康代

主 幹・・・・・・・・・・大羽 幸恵

主 幹・・・・・・・・・・高井 勇一

課長補佐・・・・・・・・高田 久佳

1. 課長補佐 午前9時30分 令和5年第1回北方町総合教育会議を開催する旨を述べる。

1. 町 長 人口減少、少子化の問題に端を発した学園構想を実現させ、義務教育学校2校とこども園が開園、開校し、行政として作るべきものは作ってきた。今後はこれらを有効に活用していくことが大事になってくる。教育の現場は様々な問題があり大変だとは思いますが、より良い方向に進んでいくようみなさんのお力添えをいただきたい。今年度も高速カラープリンターの購入やタブレット端末の更新、既存照明設備のLED化など教育関連の予算要求が多かったが、教員の負担軽減、子どもたちのためであると議会と協議し議決をしていただいた。教育方針については、特に不登校

児童生徒対策に力を入れていくとのことで、こちらの支援も行政としてしっかりさせていただく所存である。

1. 課長補佐 教育長より令和6年度教育委員会の重点施策について説明を求める。

1. 教育長 資料に基づき、令和6年度教育委員会の重点施策について説明する。

○学校教育 【たくましい北方の子の育成する】

《安心して学べる園・学校》

- ・学びの多様化学校（分教室型）の開校
- ・連携する多様化学校への通学支援
- ・教育相談体制（人と場所）の充実
- ・北方学園2年目の魅力づくりの推進

《たくましく生きる力の育成》

- ・幼保小中15年間一貫教育の推進
- ・北方科の充実を図る（地域講師を招く授業、教科書の更新）
- ・英語、ICT教育の推進

（タブレット端末の更新、英語教育力の向上）

○社会教育 【文化・スポーツの振興を図る】

《文化の振興》

- ・歴史資料、文化財の活用を図る（常設展示、テーマ別展示の実施）
- ・国民文化祭としての取り組みを実施
- ・各種講座や教室の内容の充実

《スポーツの振興》

- ・体育的行事の充実を図る
（歩け歩け運動、町民運動会、清流駅伝等）
- ・各種スポーツ活動への支援（スポーツ大会、各種教室等）
- ・北方学園クラブの運営の充実

1. 村瀬委員 大学の授業で学生60人分くらいの数ページの資料を作るのに1時間以上はかかる。高速カラープリンターの導入は、先生方が時間を有効に使えて働き方改革につながる。

1. 安田委員 教員の働き方改革につながっているのも素晴らしいが、子どものためにもなることもアピールして欲しい。岐阜本巣特別支援学校で勤めていた15年前に同じ機器を導入し、学級通信をカラーで作成したところ保護者に非常に喜んでもらった。事務機器は高価ではあるが、その効果はそれ以上の価値があると思う。
1. 林委員 学園の魅力づくりは、不登校傾向にある子どもたちも惹きつける様な活動や授業で、かつ継続的なものになるよう特に力を入れて頑張ってもらいたい。
1. 佐野委員 町長が子どもたちの教育環境はほぼ整ったと言われるとおりに、子どもたちが安心・安全に学習し生活できる場所が完成したと感じている。開校して1年目は落ち着かない状況もあったとは思いますが、今は安定してこれからどんどんと各校の色も出しながら良い方向に進んでいく事を願っている。
- また、歩け歩け運動のようにたくさんの町民の方が参加できるような行事が充実することで、もっと北方町が元気になると思う。
1. 町 長 以前の歩け歩け運動は、町内で歩いたり樽見鉄道を使ったりしていたが、参加者がどんどん少なくなっていった。そこで、遠足的な要素を含めバスで観光がてら歩けるようなイベントにして参加費を負担してもらおうようにしたところ参加者が増え、バスを1台増やした今年ですら参加希望者が多く、参加できなかった方がいるような状況であった。来年はバスをもう1台増やすことも検討している。また、イベントの回数を増やすことも良いが、このイベントで知り合った方々がつながって町民のみなさんで企画して盛り上げてもらえるのがベストであり、ねらいでもある。さらに、ここでつながった方たちがホッと・カフェや他のイベントへも参加して、どんどんつながっていくことを願っている。
1. 安田委員 幼保小中一貫教育や架け橋プログラムの令和5年度のモデル事業の発表をいくつか聞いたが、北方町は北方学園の創立と幼保小中一貫教育の推進がちょうど良いタイミングでとても具体的であり、他の市町村をリードするようなどとても良い内容であった。町内のこども園や幼稚園、保育園の先生たちが幼小期からの教育についてしっかり理解し一生懸命取り組んでおり、今後も是非継続していただきたい。

1. 課長補佐 次回は10月に実施する予定である旨述べる。他に質疑がないことを確認し、午前10時55分、本日の付議事項がすべて終了した旨を述べ、本会議の終了を告げた。